

●全国路地サミット2008 IN 長野

来る10月25日（土）と26日（日）に、長野市は善光寺界隈と松代において、第6回全国路地サミットIN長野が開催されます。昨年は、静岡県の新居町で開催され、味わいのある小路（ショール）でしたが、それ以上に地元の料理とお酒によるもてなしは最高でした。

今回の長野の特徴は、一つは国土交通省に新しく設けられた観光庁トップの来賓挨拶（予定）、もう一つはフォーラムの会場が善光寺の広い畳の間であることです。初日は善光寺界隈のまち歩き、2日目は松代のまち歩きです。できるだけたくさんの方の参加が期待されます。

全国路地サミット2008・ホームページ  
<http://jsurp.net/roji/summit/06/summit06top.html>

高尾利文（第二計画部）

●『+artsな防災イベント』を見学して（その2／2）  
～イザ！カエルキャラバン！～

「BO-SAI 2008 in TOYOSU」の中で開催された「イザ！カエルキャラバン！MESSAGE FROM 1995 AT KOBE」。このイベントは、2005年に阪神淡路大震災10年を契機に神戸カエルキャラバン2005として立ち上げられた、防災に必要な技や知識を楽しく学ぶことができる体験型のワークショップです。

そのシステムは、子ども達が家でいらなくなったおもちゃを持ち寄り、かえっこバンクでポイントと交換し、さらに、阪神・淡路大震災の経験を生かした「消火」、「救出」、「救護」などのゲーム形式の防災訓練に参加することにポイントをもらって、最後にまたポイントをおもちゃと交換するというものです。つまりおもちゃとポイントを「かえっこ」ということですね。

ワークショップは、毛布で担架、ジャッキアップ、緊急持ち出し品クイズ、新聞紙とラップで食器作り、バケツリレー、水消火器、防災ゲーム「ぐらぐらタウン」、人形劇・紙芝居などなど様々なブースがあり、さながら防災屋台村でその賑やかさがまた楽しさを醸成していたのかもしれない。バケツリレーでは、各家庭にバケツがそうそうあることもないということで、バケツに加えて鍋にじょうろに、洗面器、果てはザル？まで登場していました。

子ども達が楽しく、防災学習するということは、実は子ども達を連れてきた親たちも学習するということですね。その辺がこのイベントの狙いなのかなと、子ども達と一緒にイベントに参加して、楽しそうな親たちを見ていて思いました。ただ、子ども達が持ち寄ったおもちゃがどれもぼろぼろのモノばかりで、こうした面で参加者のマナーがもっと向上する必要があるなと思われま

文責者：木村晃郁（株式会社 都市計画同人）  
紹介者：高尾利文（第二計画部）

●燃料価格と高速道路利用台数

ガソリン価格高騰も一服の感があるが、ガソリン価格が対前年比10%以上値上がりしたH19.12～H20.8（H20.4を除く）の8ヶ月間の東日本高速道路利用台数の対前年比から、弾性率を試算すると0.13となった。

ただし、各月の値は2%から30%までバラツキは大きい。例えば、ガソリンが150円から180円に20%上昇すると、利用台数は2.6%減少することになる。一般的に言われる「都市高速道路の需要の料金弾力性は、およそ0.1」とほぼ同じ水準である。

H19.7からH20.7の間にガソリンは140円から180円（基準）に22%増加したが、利用台数は3%減少したことになり、これは高速料金の30%値上げに近いインパクトといえ、首都高料金の700円が900円に200円値上がりしたことに相当する。

これはリッター40円値上げした場合、5リッター、おおよそ50kmの走行に相

当し、高速道路の平均利用距離（普通車）の 50km と一致する。ガソリン価格上昇の影響を、高速道路利用料金の値下げで緩和するという緊急対策が検討されているようだが、値下げ幅の検討にあたっては需要の弾力性についての分析も望まれる。

矢島充郎（第一計画部）

---

発行責任者：代表取締役 庄山 高司  
事務局：株式会社アルメック 業務部  
東京都目黒区青葉台 1-19-14  
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210  
Eメール [hotnews@almec.co.jp](mailto:hotnews@almec.co.jp)  
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>

---

Copyright 2008 ALMEC Corporation. All rights reserved.